

# 連節バス試走に関する新聞記事

12月4日 京都新聞



## 連節バスを試験走行

精華・祝園 — 学研都市間

需要増受け導人視野に

関西文化学術研究都市とJR祝園駅・近鉄新祝園駅（精華町祝園）を結ぶ新たな公共交通導入を目指そうと、府は3日、2車体を接続した連節バス1台（50席、約120人乗り）の試験走行を精華町内で行った。祝園—学研都市間の往復約11キロを関係者が試乗し、走行状況を確認した。

府文化学術研究都市推進課によると、近年、学研都市内の立地企業

試験走行した2車体接続の連節バス（精華町祝園）

試験走行には、府や町の関係者ら約50人が参加した。連節バスはJR祝園駅西口を午後0時15分に出発し、約30分かけて精華町役場や国立国会図書館関西館付近を通過する試験ルートを走行した。午後1時半から2回目の試験走行をした。試乗した参加者らは車内からビデオ撮影し、道路幅など走行に支障がないか確認した。改善点を今後、検討する。

（山本秀一）

12月4日 読売新聞

「連節バス」試験運行  
精華

乗客の増加に対応するため、府は3日、バスを2台をつないだような「連節バス」の試験運行を精華町で行った。写真。関西文化学術研究都市（学研都市）の精華・西木津地区への企業進出が好調なため、府は利用客の増加を見据え、導入に向けた環境整備を行う方針。

試験運行には、府や精華町の職員、奈良交通の社員ら約50人が乗車。JR祝園駅のバスターミナルを起点に、大通りや住宅街の幹線道路を通り、安全に走行できる環境を確認した。試乗した府の山下晃正・副知事は「低コストで多くの乗客を運べる。今後、学研都市の公共交通の核になるはずだ」と話していた。

